

出雲大社周辺道路(シェアスペース等)における低速モビリティ導入による道路空間の魅力向上及び安全性検証の社会実験の実施について

《実験の目的》

本実験は、グリーンスローモビリティによる乗合交通を運行し、周遊及び外出が促進され、移動が円滑になっているかを検証します。

また、人と車が共存することを目的としたシェアスペースに、グリーンスローモビリティも共存することができるかを検証します。

《これまでの取組状況》

令和元年度に社会実験の実施に向けて協議会を立ち上げ、出雲大社周辺エリアの神門通り及び狭隘な道路を中心として、観光客と地域住民の移動環境向上のため、低速モビリティ(グリーンスローモビリティ)が有効であるかどうかを目的として実行可能性調査を実施しました。

協議会では、その調査結果を審議し、『安全性や導入に向けての課題はあるものの現地実証実験(社会実験)を実施すべき』との意見をいただき、また、アンケート結果により、観光客・地域住民共にニーズがあると判断できたことから、令和3年度の現地実証実験(社会実験)に向け準備をしてきました。

《実験の内容》

1. 現地実証実験(社会実験)

【運行区域】出雲大社周辺の1.5km四方のエリア

【使用車両】ゴルフカート型電動小型低速車

【運行方法】定時定路線(月金土日は観光客向け、火水木は地元住民向け)

【実施期間】11月12日(金)から11月21日(日)までの10日間

[実験車両参考例]

《グリーンスローモビリティ》



車 両	ヤマハAR-07
全 長	3.96m
全 幅	1.33m
乗車定員	7人
速 度	20km/h未満
走行可能距離	1回充電で30km程度
フル充電	8時間程度

2. 実施団体

実施団体は、関係者からなる協議会を組織します。

協議会については、実行可能性調査時同様『出雲市低速モビリティ導入社会実験協議会』として、国土交通省、島根県、市、地元関係団体等により構成予定です。

事務局は、市の都市建設部道路建設課・総合政策部交通政策課・防災安全部防災安全課・経済観光部観光課・地域環境部環境政策課ゼロカーボン推進室で行います。

3. 事業費及び財源

①事業費 700万円

②財源 国土交通省から協議会へ直接負担金が交付（交付率は10/10）

4. 今後の予定

令和3年10月上旬頃

協議会開催

令和3年11月

グリーンスローモビリティ乗合交通実験及びアンケート調査を実施

令和4年2月頃

現地実証実験とりまとめ

観光客と地域住民の移動環境の向上を確認

有料によるサービス導入を検討

【走行実験予定図】



[参考（前回の実験結果）]

○令和元年度に実施した実行可能性調査について

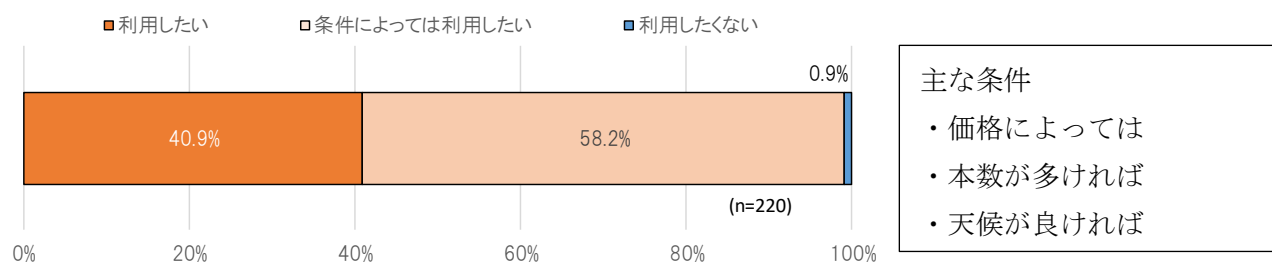
【調査概要】

- ①観光客に対するニーズ調査（令和元年 11 月 10・28～30 日）
 - ア）シニアカー試乗体験を行い、アンケート調査を実施。
 - イ）グリーンスローモビリティ乗合交通のニーズ調査を実施。
- ②地域住民に対するニーズ調査（令和元年 12 月 17 日～令和 2 年 1 月 10 日）
グリーンスローモビリティ乗合交通の利用意向調査を実施。
- ③関係機関・団体等ヒアリング調査（令和 2 年 2 月 12・13 日）
警察、関係者等立会いの下でシニアカーを試走させ検証を実施。

○調査結果

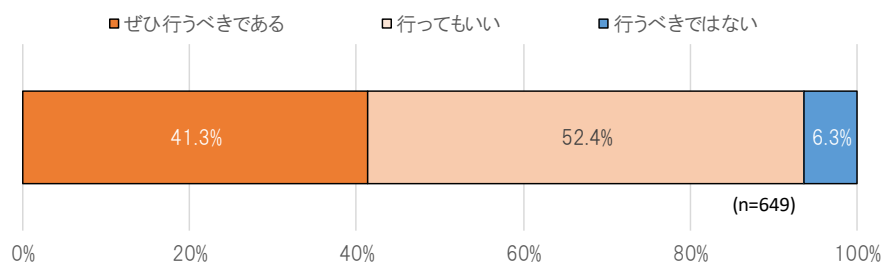
1. グリーンスローモビリティの運行について【観光客】

（出雲大社付近～稲佐の浜間）



2. グリーンスローモビリティの運行について【地域住民】

（ラピタ大社店～ショッピングタウンエル間）



○協議会の意見

協議会 3 回実施（令和元年 10 月 16 日・11 月 10 日・令和 2 年 3 月 16 日）

現地実証実験（社会実験）の実施について

委員総数 13 名

- | | |
|-----------------------------|------|
| ①実施すべき | 11 名 |
| ②シニアカー実施すべき・グリーンスローモビリティ再検討 | 1 名 |
| ③回答なし | 1 名 |

現地実証実験（社会実験）を実施することで賛同を得る。